

## 1. 公共施設等総合管理計画の見直し

### (1) 見直しの目的

芽室町公共施設等総合管理計画は平成 28 年 2 月に策定し、平成 29 年 9 月に取組体制の項目追加の一部改訂をしています。策定から一定期間経過しており、今日までの状況変化を捉えるとともに、今後における更新等に係る経費見込みを明らかにすること等を目的としています。

なお、国のインフラ長寿命化計画に見直しが行われたこと、公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針が改定されたことから地方自治体に公共施設等総合管理計画の見直し要請を受けています。

### (2) 見直し内容

#### ① 現状把握

策定から今日までの状況変化についてデータ整理及び現状把握を行う

- 財産台帳等との整合
- 施設保有量の推移
- 固定資産減価償却率の推移
- 現在要している維持管理経費
- 計画策定時からの時点修正

#### ② 長寿命化対策の効果推計

- 長寿命化対策を反映した場合の見込み
- 一定期間における長寿命化対策の効果額推計

#### ③ 基本的な考え方の検証と見直し

- ①、②を踏まえた検証
- 個別施設計画策定に係る維持管理・更新等に係る施設の評価方法
- 社会課題における対応検討（ユニバーサルデザイン、脱炭素化推進等）
- 維持管理手法構築に向けての考え方

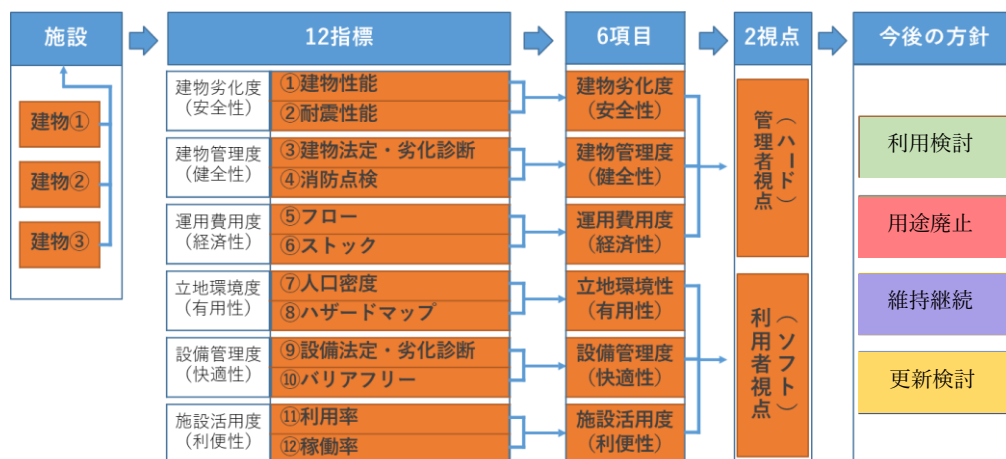
## 2. 個別施設計画（建築物）の策定

### (1) 策定の目的

公共施設等総合管理計画に基づき、施設の評価を行い、個別の施設についての方角性を示し、公共施設マネジメントを適切に推進すること資することを目的に策定するものです。

## (2) 個別施設の評価

主にハード面における施設管理者視点及びソフト面における利用者視点において、下記の12指標6項目による評価（数値化）を行い今後の方針を導きます。



「利用検討」：施設状態は悪くないが、利用状況が良くないと考えられるため、用途変更や統廃合による有効活用を検討すべき施設

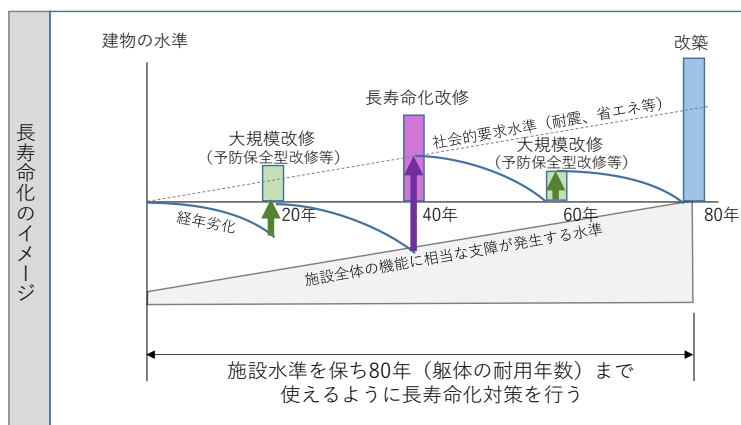
「用途廃止」：管理者視点からも利用者視点からも評価が悪く、用途廃止を前提に施設の除却や売却を検討すべき施設

「維持継続」：管理者視点からも利用者視点からも評価が高く、今後も保有すべき施設として維持管理を行う施設

「更新検討」：利用状況は悪くないが、施設状態が悪くないと考えられるため、更新だけでなく、他施設への移転や統廃合による総量の適正化を検討すべき施設

## (3) 長寿命化対策の推計

総合管理計画の長寿命化実施方針に基づき、長寿命化工事を行い80年まで長期使用する場合の対策費用のシミュレーションを示します。



3. 今後の展開

令和5年 3月までに素案作成  
4月パブリックコメント  
5月成案化